

## 令和4年度第1回博物館協議会 議事要録

日 時 令和4年7月27日（水） 10:00～11:30

場 所 プラザおおるり 第二会議室

出席者 【委 員】小長谷委員、法月委員、前原委員、平野委員、青木委員、小林委員、  
田口委員、杉山委員  
【事務局】博物館 又平館長、松下課長補佐、朝比奈主任学芸員、曳地学芸員  
大石学芸員  
※傍聴者なし

1 開会（10:00）

2 委嘱状の交付

3 又平館長挨拶

4 議事

### (1) 報告事項

①令和3年度事業報告について

ア.入館者及び観覧料収入

イ.講座・体験学習等の開催状況

ウ.企画展及び収蔵品展の状況

### ◆質疑

【委 員】 前年比較で令和3年度の観覧者数が増加した要因は何か。

【事務局】 コロナの影響が令和2年度と比較し少なかったことが大きな要因である。加えて、コロナによる移動制限の影響で県内観覧者が増加した影響もあります。

【委 員】 全体を通しての増減は、資料を拝見すればわかる。企画展毎の目標数値や達成度を説明していただきたい。加えて八木幾朗展については、無料の人数が多いが何か理由はあるのか。

【事務局】 企画展毎のねらいはあるのですが、数値について具体的数値の設定はしておりません。今後実績を基に具体的な数値を設定していきたいと考え

ます。八木幾朗展の無料人数が多い理由は、企画展開催中無料開放日があり、その人数が加算されていることと、中学生以下の無料観覧者が多かったためです。

【委員】 銅版画体験など専門性の高い講座については、告知をしっかりとした方がよい。

【委員】 組織が観光文化部になったことを踏まえ、新しい体験など検討されてはどうか。

【事務局】 告知については、通常の告知のほか近隣高校の美術部へ声をかけるなど工夫をしました。体験については、整理して内容の見直しを図っていきます。

## ②令和4年度展示及び事業計画について

ア. 博物館本館・分館展示

イ. 講座・体験学習等

### ◆質疑

【委員】 展示のネーミング「遊び心 ころころ」など、親しみがもて、関心しています。

昨年銅版画の博物館講座に参加し、とても楽しく受講できました。受講後こうした体験を継続開催して欲しいと意見をしました。その意見を受けて令和4年度オープンアトリエとして形にさせていただいて嬉しく思いました。今後も利用しやすく親しみやすい体験を提供してほしいです。

【事務局】 ありがとうございます。親しみやすいタイトルなど工夫しております。体験についても、昨年の体験を生かし試行ではありますが、工作室を貸し出す、オープンアトリエを年間3回計画しました。

【委員】 オープンアトリエは水曜日開催ですが、理由を教えてください。

【事務局】 じっくり製作できるよう平日に設定しています。主な理由として、美術愛好家の方々にヒアリングを実施し、女性は、土日出かけにくいという意見と企業や商店の休みが水曜日であるという理由からです。

【委員】 新しい講座開催が新規顧客の掘り起こしにもなると思います。昔の暮らし体験はどういったものなのか簡単にお教えてください。

- 【事務局】 昔の生活を再現しつつクイズ形式で理解していただくものです。
- 【委員】 柏餅づくりなど季節の行事を体験させることなども良いかもしれませんね。世界情勢によって、今後の生活がどうなるかわからない中、若い人に、昔の不便な生活をしってもらうことも意味のあることかもしれません。
- 【委員】 分館の企画で、作品だけでなく笠や版木をかざったりすることは新鮮でいいですね。海野光弘の日記帳などあれば面白いかもしれませんね。
- 【事務局】 わかりました。参考にさせていただきます。
- 【委員】 体験の情報などが入ってこない方もいらっしゃると思います。広報紙に掲載されていても探さなくてはならず、固定枠を確保していただけたら良いと思います。
- 【委員】 その意見に賛成です。議員の質問で観光資源の一つとして整理しているという説明もあり、企画を知らしめ関心をもってもらうことが大切です。
- 【委員】 広報紙はスペースが限られていることから実現できれば良いがなかなか難しい側面もあると思います。そのため、多様な組織等と連携するなどして告知する方法を検討していくべきだと考えます。
- 【事務局】 現在、広報紙、ホームページ、フェイスブックなどの媒体で告知しております。いただいたご意見を基に検討の上、外部組織等に働きかけをしていきます。
- 【委員】 様々な講座の開催していることに感心します。博物館単体の事業はもちろんです。川越シェア全体を考えその一翼として博物館の役割を担っていただければよいと思います。
- 【事務局】 現在、川越街道の整備計画に基づき市として整備を進めています。本年実施予定の街道の道路整備や川会所の移設など整備を進めている状況です。もちろん川越遺跡に隣接する博物館としての役割を果たしてまいります。

## (2) 協議事項

①令和5年度本館・分館展示計画について

【委員】 本館企画予定の「原弘展」はどんな企画を計画していますか。

【事務局】 日本のグラフィックデザインの先駆的存在の「原弘展」を計画しています。

【委員】 原弘は、特殊東海製紙のファンシーペーパーを使用している。島田市で行う意義もあると思う。本館展示計画は、年間のテーマや説明が不足している。もう少し、何故そのテーマを選ぶのかという記述を加えるべき。分館については、とても面白い、イスに視点を当てるのも興味深い。県内家具作家やデザイナーとコラボしても良いかもしれません。また、「海野光弘あなた、盗むならどれ？」は非常に挑戦的なタイトルですが、「あなたの家に飾るならどれ」くらいに抑えても良いかもしれません。カタカナにする選択肢もあります。

【委員】 このタイトルは非常に挑戦的ですね。少し変えた方が良いかもしれません。

【事務局】 本館のテーマ性や分館の表現について再度検討してまいります。秋ごろ、皆様のご意見を再度いただけたらと存じます。

②志戸呂焼の寄贈について

【事務局】 寄贈の申し出があった。志戸呂焼き作家とともに確認を実施し寄贈を受けることとした。寄託者は、作品の紹介を希望しています。

【委員】 収蔵庫は問題ないか

【事務局】 問題ありません。

【委員】 今回の提案外ではあるが、災害時収蔵庫の備えは大丈夫か。

【事務局】 問題ないと思われませんが、ハザードマップで確認させていただきます。  
→ハザードマップ浸水想定0.5から1.0 GLから1050

【委員】 海野作品の所蔵の割合はどの程度か。収蔵品以外の展示を検討してみてもどうか。最終的寄贈にもつながってくる。

【事務局】 現在8割程度の所蔵です。所蔵外の作品については、今後の展示計画の中で検討していきます。

## 5 その他

- ・常設展示室のリニューアルに伴う基本計画について(現状説明)
- ・開館30周年記念作文コンクールの開催について
- ・次回開催日について  
→令和4年秋ごろを予定。

## 6 閉会(11:40)